## 練習問題 2-A

1. (1) 与えられた等差数列の一般項を  $a_n$  とすると  $a_n = 35 + (n-1) \cdot (-2)$  = -2n + 37  $a_n < 0$  とすると -2n + 37 < 0

$$-2n < -37$$

 $n > 18\frac{1}{2}$ 

よって,はじめて負になるのは,第19項である.

( 2 ) 与えられた等差数列の初項から第 n 項までの 和をを  $S_n$  とすると

$$S_n = \frac{n\{2 \cdot 35 + (n-1) \cdot (-2)\}}{2}$$
$$= \frac{n(-2n+72)}{2}$$
$$= n(-n+36)$$

よって,第10項までの和は

$$S_{10} = 10(-10 + 36)$$
  
=  $10 \cdot 26$   
= **260**

(3)  $S_n < 0$  とすると

$$n(-n+36) < 0$$
  
 $-n(n-36) < 0$   
 $n(n-36) > 0$   
 $n < 0, 36 < n$ 

n>0 であるから,はじめて負になるのは, 第  ${f 37}$  項 である.

2. (1) 与えられた等比数列の一般項を $a_n$ とすると

$$a_n = 2 \cdot 3^{n-1}$$
 $a_n > 1000$  とすると
 $2 \cdot 3^{n-1} > 1000$ 
 $3^{n-1} > 500$ 

ここで ,  $3^5=243, \ \ 3^6=729$  であるから , は じめて 1000 より大きくなるのは , n-1=6 の とき , すなわち 第 7 項 である . ( 2 ) 与えられた等比数列の初項から第 n 項までの 和をを  $S_n$  とすると

$$S_n = \frac{2(3^n - 1)}{3 - 1}$$
$$= \frac{2(3^n - 1)}{2}$$
$$= 3^n - 1$$

よって,第5項までの和は

$$S_2 = 3^5 - 1$$
  
= 243 - 1  
= **242**

(3)  $S_n > 10000$  とすると

$$3^n - 1 > 10000$$
$$3^n > 10001$$

ここで ,  $3^8=6531,\ \ 3^9=19683$  であるから , はじめて 10000 より大きくなるのは , 第  ${\bf 9}$  項 である .

3. ( 1 ) 与えられた恒等式において ,  $k=1,\ 2,\cdots,\ k$  として辺々を加えると

$$\sum_{k=1}^{n} \{(k+1)^4 - (k-1)^4\} = \sum_{k=1}^{n} (8k^3 + 8k)$$

左辺 =  $\sum_{k=1}^{n} (k+1)^4 - \sum_{k=1}^{n} (k-1)^4$ 
=  $\{2^4 + 3^4 + \dots + n^4 + (n+1)^4\}$ 
 $- \{0^4 + 1^4 + 2^4 + \dots + (n-1)^4\}$ 
=  $n^4 + (n+1)^4 - 1$ 
=  $n^4 - 1 + (n+1)^4$ 
=  $(n^2 + 1)(n^2 - 1) + (n+1)^4$ 
=  $(n^2 + 1)(n+1)(n-1) + (n+1)^4$ 
=  $(n+1)\{(n^2 + 1)(n-1) + (n+1)^3\}$ 
=  $(n+1)(2n^3 + 2n^2 + 4n)$ 
=  $2n(n+1)(n^2 + n + 2)$ 

右辺 =  $8\sum_{k=1}^{n} k^3 + 8\sum_{k=1}^{n} k$ 
=  $8\sum_{k=1}^{n} k^3 + 8 \cdot \frac{1}{2} n(n+1)$ 

 $=8\sum_{n=1}^{n}k^{3}+4n(n+1)$ 

よって 
$$2n(n+1)(n^2+n+2) = 8 \sum_{k=1}^n k^3 + 4n(n+1)$$
 であるから

$$\sum_{k=1}^{n} k^{3}$$

$$= \frac{1}{8} \{ 2n(n+1)(n^{2}+n+2) - 4n(n+1) \}$$

$$= \frac{2}{8}n(n+1)\{ (n^{2}+n+2) - 2 \}$$

$$= \frac{1}{4}n(n+1)(n^{2}+n)$$

$$= \frac{1}{4}n^{2}(n+1)^{2}$$

$$= \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^{2}$$

(2) [1] 
$$n=1$$
 のとき   
 左辺  $=\sum\limits_{k=1}^1 k^3=1^3=1$    
 右辺  $=\frac14\cdot1^2\cdot(1+1)^2=1$    
 よって, $n=1$  のとき,等式は成り立つ.

[2] 
$$n=l$$
 のとき,等式が成り立つと仮定する. 
$$\sum_{k=1}^{l}k^3=\frac{1}{4}l^2(l+1)^2$$
 この両辺に  $(l+1)^3$  を加えると 
$$\sum_{k=1}^{l}k^3+(l+1)^3$$
 
$$=\frac{1}{4}l^2(l+1)^2+(l+1)^3$$
 
$$\sum_{k=1}^{l+1}k^3=\frac{1}{4}l^2(l+1)^2+(l+1)^3$$
 
$$=\frac{1}{4}(l+1)^2\{l^2+4(l+1)\}$$
 
$$=\frac{1}{4}(l+1)^2(l^2+4l+4)$$
 
$$=\frac{1}{4}(l+1)^2(l+2)^2$$
 
$$=\frac{1}{4}(l+1)^2\{(l+1)+1\}^2$$

よって , n=l+1 のときも等式は成り立 つ .

[1],[2]から,すべての自然数 n について等式が成り立つ.

4. (1) 与式 = 
$$\sum_{k=1}^{n} (k^3 + k^2)$$
  
=  $\frac{1}{4}n^2(n+1)^2 + \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$   
=  $\frac{1}{12}n(n+1)\{3n(n+1) + 2(2n+1)\}$   
=  $\frac{1}{12}n(n+1)(3n^2 + 7n + 2)$   
=  $\frac{1}{12}n(n+1)(n+2)(3n+1)$ 

(2) 与式 = 
$$\sum_{k=1}^{n-1} (k^2 + k)$$
  
=  $\frac{1}{6} (n-1)n\{2(n-1)+1\}$   
+  $\frac{1}{2} (n-1)n$   
=  $\frac{1}{6} n(n-1)(2n-1+3)$   
=  $\frac{1}{6} n(n-1)(2n+2)$   
=  $\frac{1}{3} n(n-1)(n+1)$ 

5. 
$$a_n = n(n+1)2^{n-2}$$
 を①とする.

[ 1 ] 
$$n=1$$
 のとき 
$$a_1=1(1+1)2^{1-2}=2\cdot\frac{1}{2}=1$$
 よって ,  $n=1$  のとき , ①は成り立つ .

[2] 
$$n=k$$
 のとき,①が成り立つと仮定する. 
$$a_k=k(k+1)2^{k-2}$$
  $n=k+1$  のとき,漸化式より 
$$a_{k+1}=2a_k+(k+1)2^k$$
 
$$=2\cdot k(k+1)2^{k-2}+(k+1)2^k$$
 
$$=k(k+1)2^{k-1}+(k+1)2^k$$
 
$$=(k+1)2^{k-1}(k+2)$$
 
$$=(k+1)(k+2)2^{k-1}$$
 
$$=(k+1)\{(k+1)+1\}2^{(k+1)-2}$$

よって,n=k+1 のときも①が成り立つ. [1],[2]から,すべての自然数 n について①が成り立つ.

## 練習問題 2-B

1. (1) 
$$b_n=a_{n-1}-a_n$$
 より, $b_k=a_{k+1}-a_k$  であるから,これを与式の右辺に代入すると
右辺 $=a_1+\sum\limits_{k=1}^{n-1}(a_{k+1}-a_k)$ 
 $=a_1+\{(a_2-a_1)+(a_3-a_2)+\cdots$ 
 $\cdots+(a_{n-1}-a_{n-2})+(a_n-a_{n-1})\}$ 
 $=a_1+(-a_1+a_n)$ 
 $=a_n=$  左辺
よって, $a_n=a_1+\sum\limits_{k=1}^{n-1}b_k$ 

(2) 
$$b_1 = 2 - 1 = 1$$
  
 $b_2 = 4 - 2 = 2$   
 $b_3 = 7 - 4 = 3$ 

であるから ,  $\{b_n\}$  は

 $b_4 = 11 - 7 = 4$ 

 $1, 2, 3, 4, \cdots$ 

となる.よって,その一般項は

$$b_n = n$$

したがって ,  $n \ge 2$  のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$$

$$= 1 + \sum_{k=1}^{n-1} k$$

$$= 1 + \frac{1}{2} (n-1)n$$

$$= \frac{1}{2} (n^2 - n + 2)$$

n=1 ගෙප් ,  $a_1=rac{1}{2}(1^2-1+2)=1$ 

であるから,n=1 のときも,この式は成り立つ.よって, $a_n=rac{1}{2}(n^2-n+2)$ 

2. 
$$S_n = a_1 + a_2 + \dots + a_{n-1} + a_n$$
  
 $S_{n-1} = a_1 + a_2 + \dots + a_{n-1}$ 

であるから ,  $n \ge 2$  のとき

また,  $a_1 = S_1 = 1^2 + 2 \cdot 1 = 3$ 

一方,①において,n=1 とすると

$$a_1 = 2 \cdot 1 + 1 = 3$$

よって,①は,n=1のときも成り立つ.

したがって, $a_n=2n+1$ 

(初項3,公差2の等差数列)

3. (1) 
$$a_2 = 1$$
,  $a_3 = 3$ ,  $a_4 = 6$ 

(2) k 本の直線による交点が  $a_n$  個あるとき,(k+1) 本目の直線は他の k 本の直線と交わり,交点の数は k 個増加するので

$$a_{k+1} = a_k + k$$

(3) 
$$a_2 = 1$$
  
 $a_3 = 1 + 2$   
 $a_4 = (1+2) + 3$   
 $a_5 = (1+2+3) + 4$   
 $a_n = \{1+2+3+\dots+(n-2)\} + (n-1)$   
 $= 1+2+3+\dots+(n-2)+(n-1)$   
 $= \frac{1}{2}(n-1)n$   
 $= \frac{1}{2}n(n-1)$ 

## 〔別解〕

$$a_{k+1}=a_k+k$$
 より $a_{k+1}-a_k=k$ ここで, $b_k=a_{k+1}-a_k$  とおけば, $\{b_k\}$  は $\{a_n\}$  の階差数列であり

である.また,直線が1本のとき,交点はないので, $a_1=0$ 

よって

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$$

$$= 0 + \sum_{k=1}^{n-1} k$$

$$= \frac{1}{2} (n-1)n$$

$$= \frac{1}{2} n(n-1)$$

 $4. \lceil 8^n - 1$ が7で割り切れる」という命題を①とおく.

$$[\,1\,]\,n=1\,$$
のとき 
$$8^1-1=7\,{\it C}$$
なり, $7\,{\it C}$ 割りきれる. よって, $n=1\,$ のとき, $(1)$ は成り立つ.

 $8^k = 7m + 1$ 

$$[\ 2\ ]\ n=k$$
 のとき,①が成り立つと仮定する. 
$$8^k-1\ \text{が}\ 7\ \text{で割}\ \text{り切れるので,整数}\ m\ \text{を用い}$$
 て 
$$8^k-1=7m$$
 と表すことができるから

$$n = k + 1$$
 のとき  
  $8^{k+1} - 1 = 8^k \cdot 8 - 1$   
  $= (7m+1) \cdot 8 - 1$   
  $= 56m + 8 - 1$   
  $= 56m + 7$   
  $= 7(8m+1)$ 

よって, $8^{k+1}-1$ も7で割り切れるから,n=k+1のときも①が成り立つ.

[1],[2]から,すべての自然数nについて①が成り立つ.

## 5. 整数 $p^lq^mr^n$ の約数は

$$p^a q^b r^c$$

ただし

$$a = 0, 1, 2, \dots, l$$
  
 $b = 0, 1, 2, \dots, m$   
 $c = 0, 1, 2, \dots, n$ 

で表すことができるので,その総和は,次の式を展開することで求められる.

$$(p^{0} + p^{1} + p^{2} + \dots + p^{l})$$

$$\times (q^{0} + q^{1} + q^{2} + \dots + q^{m})$$

$$\times (r^{0} + r^{1} + r^{2} + \dots + r^{n})$$

ここで

$$p^0+p^1+p^2+\cdots+p^l=1+p+p^2+\cdots+p^l$$
は,初項  $1$ ,公比  $p$  の等差数列の初項から第  $(l+1)$  項までの和であり, $p \neq 1$  であるから

$$p^{0} + p^{1} + p^{2} + \dots + p^{l} = \frac{p^{l+1} - 1}{p-1}$$

同様に

$$q^{0} + q^{1} + q^{2} + \dots + q^{m} = \frac{q^{m+1} - 1}{q - 1}$$
$$r^{0} + r^{1} + r^{2} + \dots + r^{n} = \frac{r^{n+1} - 1}{r - 1}$$

したがって,約数の総和は

$$rac{p^{l+1}-1}{p-1} \cdot rac{q^{m+1}-1}{q-1} \cdot rac{r^{n+1}-1}{r-1}$$
 となる .